

みちしるべ

第152号

人権・同和問題啓発広報
人権同和政策課
☎ 22-7506
同和教育・啓発推進会議

コロナに感染しても
助け合える優しい社会をめざして
12月4日から10日は人権週間

誰もが新型コロナウイルスに対
する不安を抱えています。

こんなときだからこそ、励ま
しと支え合いで、安心して過ご
せる社会を作っていきましょう。

出雲市では、様々な人権問題
の解消を図るため、地域、学校、
各種団体及び行政機関からなる
「出雲市同和教育・啓発推進会
議」を設置し、啓発活動を推
進しています。



地域・学校・各種団体・行政機関が連携

新型コロナウイルス感染症に関する 偏見や差別をなくそう!

感染者やその家族、医療関係者等への
誹謗中傷や差別的な対応は人権侵害であり、
決して許されるものではありません。
人権侵害につながるような情報発信や
拡散はやめましょう!



偏見や差別的言動に同調せず、
確かな情報に基づき冷静に行動しましょう。

出雲市 出雲市同和教育・啓発推進会議

▲マスクケース

また、人権週間期間中は、郵便局と連携し、市内各郵便局窓口で、啓発メッセージの入ったマスクケースを配布する予定です。

新型コロナウイルスに関連した人権侵害が相次いでいることから、出雲市と出雲市同和教育・啓発推進会議では、新型コロナウイルスに関する人権への配慮に関連した、さまざまな取組を行っています。今回はその一部をご紹介します。

〈啓発物品(マスクケース)と啓発チラシを使った啓発活動〉

各地区同和教育推進協議会などをはじめとする各種団体で、マスクケースと啓発チラシを使った啓発活動を行っています。

新型コロナウイルスに関する人権侵害を防ごう！
 ～出雲市と出雲市同和教育・啓発推進会議からの共同メッセージ～

「感染した人の尊厳を傷つけないよう」

あつぽほのりまかせ

ウイルスは人を選びません。明日あなた自身が感染するかもしれないと考えたことはありませんか？

その時に、あなたの名前や住んでいるところ、職場や学校、さらに感染した全く関係ない個人情報などが、勝手にSNSで発信されたとしたら・・・

そして、感染したというだけの理由で非難され、あるいは、あなた自身だけでなく、家族や職場や学校までもが誹謗中傷的になり、迷惑がかかってしまった職場や学校に行けなくなったり、住んでいるところを出ていかざるを得なくなったり・・・

それは明らかに人権侵害です。

感染した人の尊厳や人生を傷つけ、取り返しのつかないことになってしまいます。

人ごとではありません。
 あなた自身の問題です。

あなたに心当たりはありませんか？
 あなたも加害者になっていませんか？

このような人権侵害が起こってくる
 と、新型コロナウイルスに感染したと
 思っても、誰にも相談できずに隠し、
 次の感染につながり、拡大していきま
 す。

新型コロナウィルスに感染した人について
 の情報収集や発信、拡散により、その人の
 尊厳や人生を傷つけるようなことは絶対
 にやめましょう！

本当の敵は新型コロナウィルス
 です。

いかなる場合でも、不当な差別、偏見、いじめは許されるものではありません。

感染者やその関係者だけでなく、
 これから年末年始にかけて帰省される方に対しても、必要以上に
 感染を恐れて過度な対応をすること
 のないよう、人権に配慮した
 冷静な行動をお願いします。

お互いを尊重し、支え合い協力
 して困難を乗り越えましょう。

12月4日(金)～10日(木)は 人権週間

「誰か」のこと じゃない

1948年(昭和23年)12月10日の国連総会で世界人権宣言が採択されました。国連ではこの日を「人権デー」と定め、人権擁護活動を推進しています。わが国では、毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、年ごとに強調事項を掲げて、人権意識の高揚を呼びかけています。

- ◎ 女性の人権を守ろう
- ◎ 子どもの人権を守ろう
- ◎ 高齢者の人権を守ろう
- ◎ 障がいを持つ理由とする偏見や差別をなくそう
- ◎ 同和問題(部落差別)を解消しよう
- ◎ アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- ◎ 外国人の人権を尊重しよう
- ◎ HIV感染者等に対する偏見や差別をなくそう
- ◎ ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別をなくそう
- ◎ 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- ◎ 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ◎ インターネットによる人権侵害をなくそう
- ◎ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ◎ ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- ◎ 性的指向及び性自認を理由とする偏見や差別をなくそう
- ◎ 人身取引をなくそう
- ◎ 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう

第33回 隣保館まつり 人権標語特選作品

- わらわらない ひとのまちがい しつぱいを 庄原小学校1年 石倉 羽唯さん
- うわさやうそ 判断するのは ぼくの目で 塩冶小学校3年 板倉 颯亮さん
- うわさより しつかり本人 見つめよう 今市小学校5年 池淵ひかりさん
- 偏見を うまないために 知る努力 河南中学校1年 大野 颯太さん
- うわさ聞き ゆれる心に ブレーキを 親が言う 言葉はそのまま 子が友へ 斐川町 岩谷 匡悟さん